

第3回評議員会開催

平成13年7月4日、東京都千代田区のKDDI大手町ビルにおいて、NSネットの第3回評議員会を開催しました。

今回の評議員会では、平成13年度の事業計画及び一般向け、会員向けのホームページによる情報交換・発信活動について審議していただき、各評議員からたくさんのご意見をいただきました。

評議員会の議事内容については、取り纏め次第、ホームページに掲載する予定です。



田中 評議員

牧野 理事長



評議員会全景



碧海 評議員

大平 評議員

お知らせ

「NSネット」という組織・活動をこれまで以上に皆様に理解していただくために以下の補足フレーズを考案しました。

『原子力の安全を追求する相互交流ネットワーク』

今後、NSネットの名称やロゴに付加して使用していきます。

また、平成12年度の活動を取りまとめた年報を6月末に発行しました。



鳶 評議員

平成13年度 相互評価(ピアレビュー)の計画

平成13年度のピアレビューは、核燃料物質を取扱っている以下の10事業所を対象に、昨年度同様、組織・運営、教育・訓練、放射線防護等の分野について対等の立場から評価を行う計画であり、7月末現在、既に日本原燃(株)濃縮・埋設事業所、三菱マテリアル(株)総合研究所那珂研究センター、(株)東芝原子力技術研究所の3事業所について終了しました。

平成13年度 相互評価(ピアレビュー)の実績及び今後の予定

回	実施(予定)時期	会員名・事業所	所在地	対象施設の分類
12	平成13年5月22日 ～25日	日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所	青森県 上北郡 六ヶ所村	濃縮施設
13	平成13年6月19日 ～21日	三菱マテリアル(株) 総合研究所那珂研究センター	茨城県 那珂郡 那珂町	核燃料物質使用施設
14	平成13年7月17日 ～19日	(株)東芝 原子力技術研究所	神奈川県 川崎市	試験炉施設
15	(平成13年8月)	北陸電力(株) 志賀原子力発電所	石川県 羽咋郡 志賀町	原子力発電施設
16	(平成13年9月)	日本原子力研究所 東海研究所	茨城県 那珂郡 東海村	試験炉施設
17	(平成13年10月)	中国電力(株) 島根原子力発電所	島根県 八束郡 鹿島町	原子力発電施設
18	(平成13年11月)	核燃料サイクル開発機構 東海事業所	茨城県 那珂郡 東海村	再処理施設
19	(平成13年12月)	住友金属鉱山(株) エネルギー・環境事業部 技術セン	茨城県 那珂郡 東海村	核燃料物質使用施設
20	(平成14年1月)	関西電力(株) 大飯発電所	福井県 大飯郡 大飯町	原子力発電施設
21	(平成14年2月)	中部電力(株) 浜岡原子力発電所	静岡県 小笠郡 浜岡町	原子力発電施設

*実施時期は、都合により変更となる場合があります。

相互評価(ピアレビュー)の実施状況

今回は、第12回日本原燃(株)濃縮・埋設事業所、第13回三菱マテリアル(株)総合研究所那珂研究センターで行われたピアレビューの状況を紹介します。

ピアレビューの概要及び報告書の全文をNSネットホームページに掲載していますのでご覧ください。

第12回 日本原燃(株)濃縮・埋設事業所

平成13年5月22日から25日にかけて行われた第12回のピアレビューには、日本原子力研究所、三菱重工業(株)、原子燃料工業(株)、中部電力(株)、日揮(株)及びNSネット事務局の専門家(計6名)が評価チームに参加し、組織・運営、緊急時対策、教育・訓練、運転・保守、放射線防護及び重大事故防止の分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。

評価の結果、主な良好事例として「品質方針に安全、安定操業を掲げ、品質と安全を一体化し、PDCA(Plan-Do-Check-Act)サイクルを回す品質マネジメントシステムが効果的に機能していること」、また主な改善提案として「協力会社社員とのより一層のコミュニケーションを推進するため、協力会社から幅広く生の声を聞き業務運営に反映できるように仕組みづくりについて検討すること」が抽出されました。



現場観察の様子



ピアレビュー報告書の提出
牧野理事長より 日本原燃(株)佐々木社長へ



現場観察の様子



ピアレビュー報告書の提出
牧野理事長より 三菱マテリアル(株)西川社長へ

第13回 三菱マテリアル(株)総合研究所那珂研究センター

平成13年6月19日から21日にかけて行われた第13回のピアレビューには、東北電力(株)、三井造船(株)、中国電力(株)、(財)電力中央研究所及び九州電力(株)の専門家(計5名)が評価チームに参加し、組織・運営、緊急時対策、教育・訓練、運転・保守、放射線防護及び重大事故防止の分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。

評価の結果、事業所トップによる現場中心主義に基づく組織運営が行われていることが確認されました。また、主な良好事例として「関係会社も含めた原子力安全監察や原子力部門以外も含めた社内事業所相互の安全衛生監査など、安全に関して横断的にチェックする取組みが積極的に行われていること」、主な改善提案として「現場での非常時対応や安全意識の一層の向上のため、非常時の機器操作手順の要点や安全上の重要事項を現場に提示すること」が抽出されました。

安全キャラバンの実施状況

今回は、第18回から第21回の安全キャラバンの様子について紹介します。キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

安全キャラバンで講演いただいた内容は、NSネットにて講演録とした上で会員に配布しております。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
18	6月13日	石川島播磨重工業(株) 原子力事業部	関西電力(株)原子力事業本部 保全計画グループマネジャー 千種直樹氏	安全管理の徹底への取組みについて
19	6月22日	富士電機(株) エネルギー製作所	中部電力(株)浜岡原子力発電所 原子力研修センター 所長 牧戸秀樹氏	安全を守るために - 浜岡原子力発電所の取組み -
20	7月6日	(財)電力中央研究所 狛江地区	核燃料サイクル開発機構東海事業所 保安管理部長 金盛正至氏	JCO臨界事故とその後の リスクコミュニケーション
21	7月12日	レーザー濃縮技術研究組合 東海濃縮実験所	-	-



千種直樹氏
(於 石川島播磨重工業(株)原子力事業部)
「過去のトラブルを風化させずに大事に使って、かつそれを体に取り込み、自分の仕事の中で自らフォローできるように消化していくことが安全の徹底に必要」



牧戸秀樹氏(於 富士電機(株)エネルギー製作所)
「安全を守るために最も重要なことは、トップが『安全が最優先である』というメッセージを常に発信し続けることであり、このトップの方針を如何に組織に根付かせるかである」



金盛正至氏(於 (財)電力中央研究所 狛江地区)
「安全管理から危機管理へ。自主保安体制として危機管理体制の強化や労働安全衛生・教育訓練をいかに充実していくかが大きなポイントである」



意見交換会(於 レーザー濃縮技術研究組合)

今後の予定

8月23日(木)、24日(金)に茨城県水戸市にて第3回管理者セミナーを開催します。初日、金沢工業大学 礼野 順教授に「技術倫理は企業を救うか - リスクマネジメントとしての技術倫理プログラム」と題してご講演をいただく予定です。併せて平成12年度のピアレビューで抽出された良好事例のいくつかを会員に説明していただき、会場に集まった管理者の方とディスカッションを行

う予定です。翌日には、核燃料サイクル開発機構、日本原子力研究所の東海地区、大洗地区の施設見学会も予定しています。

また、9月13日(木)には、都内にて「21世紀の原子力を安全で信頼あるものとするために」をテーマに平成13年度NSネットセミナーを開催する予定です。



NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るため設立されたネットワーク組織です。

NSnet News No.8 2001年7月発行

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnet.gr.jp>